合璧の偉大な企業文化のひとつ ～ 称賛の意義

工業化が驚くような速度で進む今の時代、企業間の競争は日増しに激しさを増しています。そして多くの会社が倒産する中で合璧は成長を続け、40年かけて小さな町工場を現在のような立派な企業に発展させました。その途中には数々の困難があったことと思います。この間、どうやって経営に当たっていたのでしょうか。また、だれが従業員を率先しながら、絶えず考え、創造し、発展を続けたのでしょうか。それはわたしたちの家長ともいえる存在、合璧の魂ともいえる人物、合璧の詹其力董事長です。

何もわからないまま合璧に入社して四年。今では合璧の企業文化の中で経営理念がとても重要な位置を占めていることがわかりました。特に、わたしは「経営理念の重要性、定着、実施方針と方法」の中で触れている「称賛は20点から30点のやる気を引き出す」が重要だと思います。ただ称賛するだけでは部下は「仕事を終えさえすればいい」という気持ちになるかもしれませんが、仕事の中で熱意をもって称賛すれば、部下はうれしくてやる気が出るにちがいありません。これについてはわたし自身も経験があります。以前わたしは図面を書く仕事をしていたのですが、そのときはまだ仕事にあまり慣れておらず、翌日になってやっと完成するといった具合でした。しかし、上司の金昌武さんが熱心に教えてくれたほか、何度も「いいじゃないか」と褒めてくれたので、一気にやる気が湧いてきて、その日のうちに完成するようになりました。

「人を中心とした」管理は本当に大切だと思います。成功している管理者は従業員を褒めるのに優れていると思います。何故なら称賛はやる気を出させるからです。毎日同じ仕事をして倦怠感も生まれ、長い時間によってやる気がなくなり、仕事のことを考えるだけでいやになります。さらにそれが続くと、仕事の質も落ちて、決められた時間内に完成しなくなります。そんなとき、だれかが気遣いや称賛の言葉をいうと、すぐに体の中の血液が新しくなるようにやる気が戻ってきます。これは何も魔法ではありません。人は褒められることで自身の価値が認められたと思い、新たな情熱が生まれてくるのです。

称賛は春風のように暖かな快適さを運んできますが、ひとつだけ忘れてはならないことがあります。それは「態度」。つまり、称賛するときは心からのものでなくてはならないということです。口先だけであれこれ褒め称えても、相手のやる気が出ないばかりか、かえって反感を買うことになると思います。

称賛は心と心が通い合うだけでなく、お互いを強く励まし合います。これの積み重ねが合璧を愛にあふれた会社にしたのです。また、思いやりも称賛と同じような効果があると思います。みんな毎日辛くても仕事に頑張れるのは思いやりに満ちた幸せな大家族の存在があるからです。だから、だれも文句をいう者はいません。反対に、わたしたちは感謝の気持ちと200%の情熱を注いで仕事に当たらなければならないと思います。何故なら、合璧はわたしたちに仕事を与えてくれるからです。わたしたちは励ましや支持や思いやりを受けているからです。それに知恵のある一人の年長者がいつも彼の人生哲学や人生観、価値観、企業文化などを伝授してくれます。他の会社ではこれらを学ぶことはできません。ここでは会社と従業員がウィン-ウィンの関係にあるのです。

わたしと合璧は何千年もの昔から世紀を越えて繋がっていたような気がします。今わたしが心から願うこと、それは合璧が董事長の下で発展を続け、輝かしい未来に向かって進んでいくことです。

上海合璧生産技術課　角红铭(江西萍乡)

はじめて合璧流を読んで

一枚一枚きれいに印刷された「合璧流」を読むとき、わたしは胸の高鳴りを覚えます。これほどまで多くの文化を持つ企業、これほどまで感謝報恩や社会還元を理解する企業が上海にあることはわたしたち従業員にとってこの上ない幸せです。いや、わたしたちだけでなく、中国の、そして世界の幸せです。

「合璧流」からは董事長のことがよく伝わってきます。強い力を発しながら講演する姿、従業員と和やかに過ごす姿、厳しい表情で仕事に取り組む姿。これらがまるで実際に見ているかのように伝わってきます。わたしはまだ董事長に会ったことはありません。しかし、優しく微笑む合璧流の写真からは従業員に対する思いやりを感じます。一人で高い位置にいる人ではなく、親しみやすい家長のような人だと思っています。そして合璧は温かい大家族。従業員はみんなここで幸せに暮らしているのです。

苗苗さんが亡くなったとき、わたしは辺りを憚らず目を真っ赤にして泣きました。そして、このときの董事長や会社幹部の遺族に対する気遣いに合璧の企業文化の魅力を感じました。それは多くの愛によって築かれた不朽の城です。苗苗さんはきっと孤独ではなかったと思います。あんなにたくさんの人が天国へ旅立つのを見送ってくれたのですから。

合璧の5Sは「整理、整頓、清潔、清掃、しつけ」の五つです。これによって仕事環境は安全で快適、さらに作業員の「真美善」が向上し、企業イメージもアップします。もし5Sがなかったら紀律はなくなり、作業効率は低下して、合璧も今日のような成功を成し遂げることはできなかったでしょう。

大明山、黄山、張家界、海辺など、合璧ではいろいろなところに行きました。山の嶺に座って朝日や夕日を眺めたり、きれいな花を見たり、海岸で遊んだり、海風に吹かれたり、海の中に足を浸したり。こうしたレジャー活動は従業員に楽しい時間を与えるだけでなく、お互いの友好や団体精神を強めます。これが合璧です。合璧の文化なのです。

古い言葉に「滴水之恩、当湧泉相報（一滴の水の恩に湧き出る泉で恩返しする）」というのがあります。感謝報恩。これは合璧の企業文化の真髄です。「合璧流」で度々見る従業員同士の助け合いや企業の社会還元（李鳳美さんの人助け、四川大地震と日本の東北大震災での募金活動など）、これらはすべて合璧の文化なのです。移り変わりの激しいこの世の中。山が崩れ、海が枯れ、生物が絶滅しそうになったとき、恩に報いることだけがそれらを越えることができます。

このほかにも感動したことや合璧に対する尊敬と愛など、書きたいことはたくさんあります。しかし、わたしは文章が上手ではないのでうまく書けません。それでも、今こうして合璧という大家族の一員となって一ヶ月、肌で感じた文化をこれからも自分で実践していきたいと思っています。

上海合璧総務課　馬　超（黑龍江哈爾濱）

上海合璧电子电器有限公司
中国201-805上海市嘉定区安亭镇安陵路318号
TEL:+86-21-5950-5466

文化の感染力

真夏の週末の晩。親戚が訪ねてきたので、はじめて新しくなった士林夜市に行きました。MRTの駅を出るとあふれんばかりの人。やっとの思いで夜市の入口に到着すると、一台一台と連なる遊覧バスから観光客が吐き出されるように降りてきます。車の音、マイクで叫ぶガイド、呼び込みの声。電光掲示板には1236の文字（夜市B1の来客数を示している）。すでに帰りたくなりました。しかし、親戚にとってはせっかくの機会、楽しんでいるようなので人波に任せて進んで行きました。

階段を下りるとき、ここでは右側通行です。しかし、中国内陸訛りの大きな声で話す中国人が数名、流れの遅さに耐え切れず左側を強引に進みました。その結果、上がってくる人とぶつかって混雑はさらにひどくなりました。わたしはここに両岸文化の差を見ました。蚵仔煎（カキ入りオムレツ）の店で店員が「並んでください」と叫んでいました。すると、さっきの中国人。彼らもちゃんと並んでいるではありませんか。階段のときのようなイライラは感じられません。これを見て、わたしは文化の感染力の強さと文化教育の重要性を感じました。

朝のあいさつや禅の5Sなど、合璧の企業文化は今、何も言わなくても中国の各地から来た従業員に伝わっています。嘉定区の商店では「合璧の従業員はほかとは違う」と、褒めないところはありません。

董事長は毎日企業文化の重要性を教えてくれます。食事や電話対応のマナーから感謝と報恩、社会還元する大きな愛にいたるまで。身近なことをきちんとやってそれを社会に広め、善いことを浸透させていくのです。みなさんもいっしょに文化を向上させていきましょう。

台湾合璧研究開発部協理　黄培栄

中国旅行に対する感謝の手紙

詹董事長こと其力おじさんへ

このたび多忙を極める董事長が姪たちのために心を配って中国旅行を計画してくれました。わたしたちは初めそれを知ったとき、うれしくて飛び上がりました。と同時にこんな幸運があっていいものかと少し不安にもなりました。ともあれ、おじさんと昔話もできることだし、心は期待でいっぱいでした。

出発前から会社の花さんが上海から長距離電話で今回の旅行の注意事項を教えてくれました。花さんは、このほかにも全日程同行してくれるなど、家族と同じような親切な態度でわたしたちに対していろいろと気を遣ってくれました。ここからも董事長の心遣いが感じ取れました。

今回の旅行でもっとも印象に残ったのは董事長の会社「上海合璧公司」の見学です。そこでは人、物、事すべてに秩序が保たれていました。はじめて会社を訪れたとき、わたしの目に飛び込んできたのは、緑の草花や広々とした工場のほか、きれいな制服を着た従業員たちの歓迎でした。彼らはきちんと整列し、大きな声で「わたしは合璧が大好きです。合璧もわたしが大好きです」とスローガンを唱えていました。わたしたちは元気をもらうとともに、こんなに歓迎されたことに深く感動を覚えました。

見学はこうしてはじまりました。作業員たちはみんな仕事に熱中しながらも、楽しそうな顔をしていました。疲れた雰囲気はなく、とてもよい職場だと感じました。それを見ながら董事長のことを思いました。董事長は会社のトップにいながらも少しも偉そうな顔をしません。そして従業員を適材適所に置いて能力を発揮する場を与えて人材の流出防止を図っています。いつも謙虚な態度で物事を行い、そこに家族のような幸せが生まれます。董事長の短い講演を聞いたあと、彼の人生経験の深さにとても感動しました。董事長はまさに素晴らしい成功者であり、一家の模範であり、わたしたち若輩が尊敬すべき人物であると思います。

わたしたちは五日間の日程で江南地方の各名所を巡りました。「天に天国あり、地に蘇杭あり」といわれるほど美しい蘇州と杭州へ行って、有名な西湖山水の美を観賞しました。人が多くてゆっくり見物することはできませんでしたが、それでも董事長とともに訪れた西湖では本当に楽しい時を過ごすことができました。その晩、董事長はわたしたちのために贅沢にも黄山地区で唯一のファイブスターホテル「黄山ゴルフホテル」を予約してくれました。そして翌日、董事長につて黄山に行き、奇松、怪石、雲海など、絵に描いたような自然の美しさを堪能しました。一日の登山で疲れ果て、その晩はフォースターホテルの「黄山排雲楼賓館」に泊まりました。この数日間、休憩所のちまきからホテルでの豪勢な食事まで、わたしたちはいろいろなものを食べました。どれもおいしくて体重もかなり増えました。董事長の心遣い、スケジュール管理、観光地の解説にはとても感謝しています。

董事長、とても忙しい中、五日間にわたっていっしょに旅をしてくれて有難うございました。董事長の足取りは軽くとても健康そうに見えました。董事長と過ごした数日間にいろいろなことを感じました。明るくて親切な態度は家族といるようでしたし、若輩のわたしたちにも気を遣ってくれました。楽しい会話から生まれる雰囲気はツアー団体自体が一つの大家族のように思えて、わたしの心に残りました。黄山を降りる時、雨が降ってきました。董事長は先頭を歩いていましたが、何度もわたしの名前を呼びながら振り返って、わたしがちゃんとついて来ているかを確認してくれました。とてもうれしかったです。董事長の優しい声を聞いて、わたしは足と膝があまりよくなかったのですが、一生懸命最後まで歩くことができました。

あっという間に過ぎた五日間。今度いつ董事長と会えるかわかりませんが、とにかくこの数日間、わたしたち兄弟は多くのものを見たり聞いたりして多くのことを学びました。とても楽しかったです。もう一度董事長にお礼をいうとともに、董事長の健康をお祈りします。今度時間があって故郷の彰化に戻ることがあれば、わたしたちが案内します。そのときは八掛山へお参りに行きましょう。わたしが董事長の長寿と事業の発展をお祈りしますから。

おじさん、わたしは等等です。今回の旅行ではいろいろなことを感じました。特におじさんの人生処世術の原則には深く感心しました。これらはしっかり学んで後世に伝えていくべきものだと思いました。また、旅の途中でわたしの膝が悪いことを知ると、籠に載せてくれたこと、本当に感謝しています。最後におじさんの健康と事業の発展を心からお祈りします。

おじさん、こんにちは。わたしは珞珞です。今回はおじさんのおかげで上海を旅行することができました。このことは一生忘れません。おじさんは自分の会社を公園のようにきれいにしたり従業員に温るやる気を与えたり、本当に感心しました。李一族の祖先に徳があったためにこのような偉大で慈悲の心にあふれた企業家が生まれたのだと思います。

今回の中国旅行で最も大きな収穫はおじさんの不屈の精神を学んだことです。これを後世に伝えていくことはとても意義のあることだと思います。今回の素晴らしい旅行への招待には心から感謝しています。忙しい中、お手数を掛けた花経理にもとても感謝しています。この場を借りてお礼をいいたいです。小さいときに父親を亡くしたわたしたちにとって、おじさんの愛は言葉にできないほど大きなものです。わたしはおじさんを愛しています。おじさんもわたしたちを愛しています。わたしたちはみな家族です。最後におじさんの健康を心からお祈りします。

台湾彰化 侄 李莘莘・李滿滿・李珞珞敬上

合璧は我等温もりの家：我は合璧を愛し、合璧は我を愛する：關心關懷關照　同心同步同調！